

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 07-215551

(43)Date of publication of application : 15.08.1995

(51)Int.Cl.

B65H 20/20
B65H 23/06

(21)Application number : 06-013766

(71)Applicant : FUJITSU LTD

(22)Date of filing : 07.02.1994

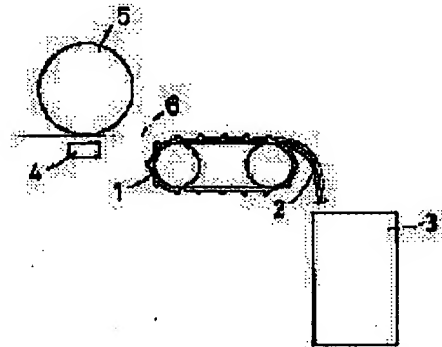
(72)Inventor : CHINZEI SEIJI

(54) CONTINUOUS SHEET CONVEYOR

(57)Abstract:

PURPOSE: To prevent the hole breakage or removal of a sheet from a tractor feeder.

CONSTITUTION: This continuous sheet conveyor is provided with a tractor feeder 1, a sheet guide 2 provided on the front side of the tractor feeder 1, and a backward load applying mechanism 3 applying a load in the direction opposite to the feed direction of the tractor feeder 1 to the sheet conveyed along the sheet guide 2. The tractive force of the sheet in the feed direction is mitigated, no hole breakage occurs, and the sheet is not removed from the tractor feeder 1.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

01.03.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japanese Patent Office

BEST AVAILABLE COPY

(51)Int. Cl. ⁴ B 6 5 H 20/20 23/06	識別記号 B	庁内整理番号 FI	技術表示箇所
審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 5 頁)			
(21)出願番号 特願平6-13766	(71)出願人 000005223 富士通株式会社 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 奥西 清司		
(22)出願日 平成6年(1994)2月7日	(72)発明者 兵衛保加東郡社町佐保35番 (番地なし) 富士通加東郡株式会社内 (74)代理人 弁理士 杉浦 俊貴		

(54)【発明の名称】 連続紙搬送装置

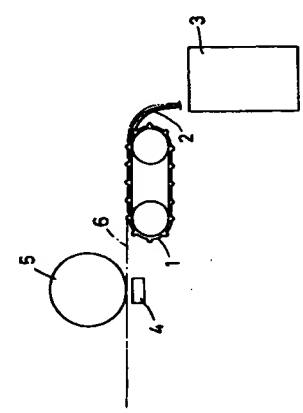
(57)【要約】

【目的】 用紙の穴ガレやトラクタフィードからの外れを防止する。

【構成】 トラクタフィード1とそのトラクタフィード1の前流側に設けられる用紙ガイド2とを備える連続紙搬送装置において、前記用紙ガイド2に沿って搬送されている用紙に前記トラクタフィード1のフィード方向と逆向きの負荷を与える後方負荷付与機構3を設ける連続紙搬送装置。

【効果】 用紙がフィード方向に引っ張られる力が緩和され、その結果、穴ガレが発生せず、用紙がトラクタフィードから外れない。

本発明による連続紙搬送装置の原理説明図。



(2)

2

特開平 7-215551

ィーダ(1)のフィード方向と逆向きの負荷を与える後方負荷付与機構(3)を設けることを特徴とする。

【0007】

本発明によれば、後方負荷付与機構(3)によりトラクタフィード(1)の搬送方向と逆向きの負荷を搬送中の用紙に与えることができるので、用紙がフィード方向に引っ張られる力が緩和され、用紙のフィード穴に過剰な力がかからないので穴ガレが発生せず、また用紙がトラクタフィード(1)から外れることもない。

【0008】

次に、本発明による連続紙搬送装置の具体的な実施例について、図面を参照しつつ説明する。

【実施例1】第1の実施例に係る連続紙搬送装置の全体構成図を図2に示す。図示するように、摩擦部材12が金具13を介してプリンタのカバー14に取り付けられている。摩擦部材12の材料は用紙17との間に摩擦力を生ずるものであれば特に限定されないが、摩擦係数が大きいものが好ましく、例えば発泡ゴムなどのゴムが好ましく用いられる。

【0010】用紙17は、ホッパ部16から供給され、用紙ガイド11およびトラクタフィード10を経て、感光ドラム19と転写部18との間を通過する。用紙17は、感光ドラム19の後流側の図示しないフィードローラによってその後流側の方向に引っ張られて搬送される。

【0011】図2はカバー14を閉めた状態を示しており、摩擦部材12が用紙17を用紙ガイド11に押し当てている。また、摩擦部材12の前流側には用紙の後端を検出するためにEOPセンサ15が設けられている。

【0012】このような状態において、用紙17を搬送すると、摩擦部材12と用紙17との間および用紙ガイド11と用紙17との間に摩擦力が生じ、用紙17をフィード方向と逆の方向に引っ張る力(後方負荷)が発生する。その力によりフィードローラが用紙17をフィード方向に引っ張る力が緩和される。その結果、用紙17のフィード穴の後部が、すなわちフィード方向と反対側の部分が破れず、用紙17がトラクタフィード10から外れることもない。

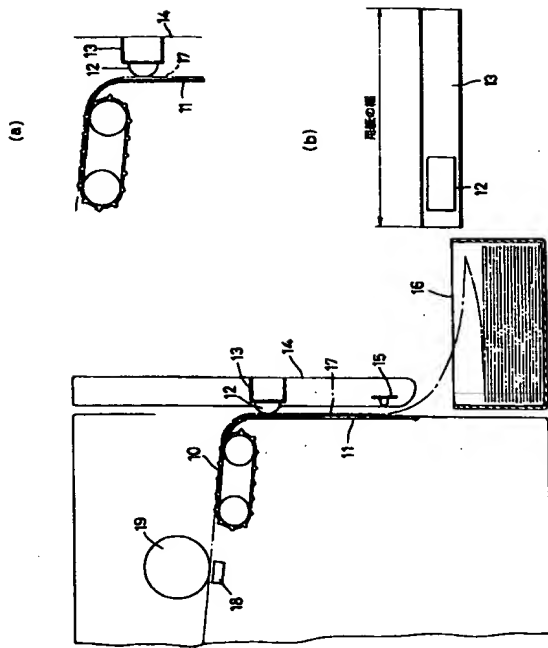
【0013】このような摩擦部材12は、用紙17の幅全体にわたって設けるのみならず、その一部に設けてもよい。一部に摩擦部材を設けた実施例1の変形例を図3に示す。図3(b)に示すように、この変形例においては、摩擦部材12が用紙の幅と同じ幅の金具13の左側の一部に設けられている。この場合も、図3(a)に示すように、弾性材料12は図2と同様にカバー14を閉めた状態において用紙17が用紙ガイド11に押し当てられる。このような状態は、用紙の摩擦係数が幅方向において異なる場合に適している。すなわち、例えば、用紙の片側のみに面像が形成されておりその面像部分の摩擦

【図 2】

第 1 の実施例に係る流延装置の全体図。

【図 3】

第 1 の実施例の變形例を示す図。



【図 7】

第 5 の実施例に係る流延装置の變形例。

【図 4】

第 2 の実施例に係る流延装置の變形例。

【図 6】

第 4 の実施例に係る流延装置の變形例。

